

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

▼ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	利用者様一人ひとりの尊厳を重視し、それぞれの方が自立・希望・感謝の念を持ち続けられるよう、心のケアをモットーに支援しています。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	運営理念を柱とし、それにむけた計画をたて、日々実践出来る様支援している。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
	家族会や慰問のときに近隣の地域住民の方にも声を掛け、参加していただき、普段から関わりを持つようにしている。		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	散歩をしている方への声掛けや挨拶を行っている。また、犬の散歩途中の方が立ち寄る事も度々ある。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	地域の祭りへ参加している。また、遊びに来ていただいたりしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	毎年、冬にはイルミネーションを飾っているが近隣住民の方が楽しみにしており、夜見に来られる方も居る。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年、評価が再確認のきっかけになっており、要改善内容については一つずつ具体的に改善計画を作り実践している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、生活の様子や評価の結果についても運営推進会議で報告し、改善に向けた計画内容も話し、意見を求めたりしている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要以上には、特別な行き来はしていない。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者・計画作成担当で、GH協議会主催の権利擁護・成年後見制度の研修を受講。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	20年3月に県主催の虐待防止セミナーに管理者・計画担当が参加し、月例会議で職員に報告している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書を良く読んで頂き、重要事項説の内容確認チェックシートを作成して理解出来た項目に を付けるようにした。又その際説明者も一緒に立ち合い様にした。解約の際も利用者様のご家族の状況を第一に考え十分に話し合いを持つ事にしている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様と個別面談を行い話しやすい状況を作る様にしている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の請求書の送付時に使用した分の領収書を添付して状況のコメントなども付けている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>目安箱を設置した。家族会の再個別に意見を聞く機会をもうけた。又目安箱は、無記名でも可とした。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月例会議を毎月第3水曜日に開催している。又毎朝のミーティングも充実させている。毎朝のミーティングから問題事項を検討し決定事項として、運営に反映させている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>毎月の休みの希望を取りスタッフの私生活と仕事のバランスを考慮したシフト作成をこころがけている。掃除と入浴介助のみのシフトや、フリーのスタッフ配置など思考を凝らしたシフト作成をしている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>シフトの作成時に休みの希望を無制限に聞き入れているのか？離職者は、少ない。馴染みの関係のスタッフも多いので万が一離職しても寂しさを感じる事は、少ないと思われる。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に参加の機会を作っている。月例会議にて研修に行った結果を報告して、資料をまとめて配布したりする様な制度を作った。	
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームの利用者様が訪問して来たり、こちらの利用者様が訪問したりして交流をしている。地区の夏祭りに参加したり、町の無料映画鑑賞会を鑑賞したりした。	
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフでチームを作成して、ボーリング大会を開催したり、3ヶ月に1回ミーティング件食事会を開催している。	
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個別面接を行い不平不満を聞き入れている、改善が出来る事は、改善している。優秀社員の表彰式も行なった。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様からの相談は、聞き入れる様にしているが、ご家族と利用者様とのあいだに入り利用者様の意見を角がたためよう報告する様心がけている。	
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用料金の事や振込み日などの金銭的な相談が増えてきた。面会時などに良く話を聞く様心がけている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様の経済状況等の相談を受けた時は、他の施設などに紹介を行なっている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居という制度を設けている為体験中に馴染めればそのまま本入居になるケースが多い、体験中馴染めないようであれば退去もスムーズにできる様にしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理や日々の会話、日常生活において知恵や経験を授かったり、たくさんのことを教えていただいている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	自然な形でできている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	日々支援しているが、特に家族会が良い関係が築けているのではないかと考えている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な場所や環境があれば、お連れすることもあるが、不可能な場合には家族の協力を得て、面会につれてきていただく等している。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクや日々の生活(座席順など)の中で、特に気を配っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>全員とはいえないが、関わりを継続できている。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>				
<p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ハード面では畳(床座)の様式にしたりしている。できる限り意向に沿うように努めている。</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に詳しくお話を聞き、また日々の何気ない会話の中からも情報を得ている。</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>朝晩のバイタルチェックで身体状態のチェックを、生活の記録では時系列で生活を記録することで、個別の生活リズムが把握しやすくしている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成時はミーティングなどから、広く意見を取り入れ、それをもとに話し合いを行っている。それを基に本人・家族の意見をまとめている。</p>		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>変化があった場合には現状にあった計画を立てている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活の記録を時系列で表しているため、1日の流れなどが把握しやすく、介護計画に役立てている。朝のミーティング・月1回の月例ミーティングなどで、情報の共有を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様が入院中に、ご家族が利用者様の居室に宿泊した		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員・ボランティア・警察・消防などと関わりを持ち、協力をえている		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特に無し		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	特に無し		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力指定病院があり、希望がない場合にはそちらに。かかりつけ医がある場合には、そちらへお連れしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣に認知症の専門医がない		認知症の専門医が増えることを強くのぞんでいる。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護や往診などの受け入れがない(必要な利用者様がない)ので、協働できていない。		これから終末期医療が必要になるケースが出てくると思われるので、相談・助言してもらえる医療関係者の必要性を感じる。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	不安や心配を軽減できるようにスタッフ・仲の良い利用者様とお見舞いに通っている。入院中の利用者様(個室)のところへ、歌を歌いに通ったこともある。入院中の利用者様の心の支えになった様です。病院との連絡・情報交換はできている。		利用者様・スタッフ共に勇気付けられ、感動した出来事だったので、これからも続けて行きたい。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去・現在とも、終末期の利用者様はいない		これから終末期を利用者様の為に、研修会へ参加をする等している。スタッフ間の共通理解・共通援助をどのように進めていくかが、今後の課題と思われる。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	過去・現在とも、終末期の利用者様はいない。		これから終末期を利用者様の為に、研修会へ参加をする等している。スタッフ間の共通理解・共通援助をどのように進めていくかが、今後の課題と思われる。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	面談に伺ったり、ホームに足を運んで頂き、話し合いを重ねている。又、顔見知りの人物を1人でも作るようにし、不安の軽減に繋がるように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員一人ひとりが利用者様に対し注意を払い接しているが、時に感情的な対応をしてしまう時がある。個人情報の取り扱いに関しては、第三者の目に届かない処で保管している。</p>	<p>言葉掛けには更なる注意を払う</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>希望の表出がある場合は、可能な限り支援する様に心がけている。表出のない利用者様に対してはアプローチしている。日々の生活の中で適時、自己決定をしていただき生活している。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日々大凡決まったタイムスケジュールで流れているため、一人ひとりのペースに合わせきる事は出来ていないが、希望があった際には、応えられるようにしている。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>定期的に訪問美容室に来て貰い、本人の希望を叶えていただいている。また、望む店がある場合はご家族に御協力いただいている。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>自発的にやっていただける利用者様は基より、職員側が判断し手伝っていただける事があれば誘いこみ一緒に作業出来る様に心がけている。</p>	<p>更に一緒に作業できるように積極的にアプローチしていきたい</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>毎回一人ひとりに合わせて提供することは出来ていないが、買い出しの際は利用者様と一緒に買い物に行き、各利用者様の好みのものが提供出来るようにしている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄の失敗を減らす為、時間誘導を実施している。排泄パターンの把握にも努めている。オムツ着用の利用者様にも尿意・便意の訴えのあった際などは、安全に留意してトイレで排泄出来る様にしている。</p>		<p>オムツ着用の利用者様が減るよう働き掛けていきたい。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>特に要望がない為、曜日・時間帯を決めて実施している</p>		<p>要望があった際は直ぐに対応できる様にしたい</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>自ら動ける利用者様は本人の意思で就寝・休息していただいている。介助が必要な利用者様には声がけをして意思確認をして本人の意思を尊重するよう努めている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>積極的な利用者様に対しては役割や本人の意思の実現などの支援は出来ていると思われる。消極的な利用者様に対しては、主にレクリエーションの時間にのみ支援する形になっている。</p>		<p>多数対多数の介護の形になってしまっていて、個人に目が届きにくくなってしまっているので、各個人にも細かく目が届き、対応できる様なシステムの構築が必要である。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>管理の出来る利用者様には、本人に任せている。管理の難しい利用者様には、職員側に任せて貰っている。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>希望の表出が余りない為、現時点では状況に応じて対応出来ている。</p>		<p>天気の良い日は散歩に誘い出したり、おやつを買い出し等出かける際は、利用者様に声がけをして外出の機会をつくっている。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>一人ひとりが行きたいところではないが、不定期ながらみんなで外出する機会をつくり出かけている。</p>		<p>一人ひとりの希望が叶うよう支援したいと思う。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、電話をかけてあげる等、支援している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間の制約もなく、いつでも訪問出来る様にしてある。自室に入れば職員や他の利用者様に気兼ねする事なく過ごせるようになっている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティング等で連絡されているので大まかな理解はしているが、正しい理解には至っていない。が、身体拘束をしない最善のケアにとりくんでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が理解しているわけではないが、鍵をかけないケアを実施している。		現在、徘徊する利用者様が居ない為、鍵は開錠されているが、そうでない場合、1日24時間見守り続けるか、施錠されることが危惧される。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	交代勤務で各時間帯を支援している		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品等は、保管・管理場所を決めている。		職員の認識の薄さからか、片付け忘れが多々あるので。注意喚起して危険を回避していきたい。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止に取り組んではいるが、徹底しきれていない。知識等も各職員が持っているが、共通の理解にはいたっていない。		マニュアル等を作成し、周知徹底させるべきである

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命講習等にて備えてはいるが、定期的な対応訓練は行っていない。ミーティング等での口頭での説明はしているが。		何時でも、誰でも対応出来るように定期的な訓練を実施したい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防・避難訓練を実施。その他不定期に夜間の避難訓練実施。避難訓練の際には地域の方に声をかけているものの余り参加いただけていない。		各職員、仕事に入る際は各々の役割を念頭に入れておけるよう喚起したい。散歩・外出の際、地域の方々に協力いただけるよう声を掛けていきたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	グループホームならではのリスクについては、入居時に充分説明して理解いただいている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	起床時・就寝時、異常を察知した際のバイタルチェックを行い、早期発見に努め、異変のあった際は速やかに対応する様になっている。ミーティング・記録により情報を共有している。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全てが正しい理解には至っていないが服薬一覧表を作成し支援に役立っている。		講習を開いたりカンファレンスで個々の説明などにより見識を深めていきたい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日行われているレクリエーションの時間に極力、体操等身体を動かす遊びを導入している。食事は高齢者向けの献立・調理方法で提供している。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後出来てはいるが、自力で出来ない利用者様やしない利用者様には就寝前に必ず口腔ケアを支援することになっている。また、週一回、訪問歯科をほぼ全員受診している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日常の食生活の観察経過を踏まえて、糖尿病・人工透析を受けている利用者様には食事量のバランスや水分摂取量を重要視している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	毎年のインフルエンザ予防接種の実施。食事前のエプロン交換、手洗い、消毒、又排泄時のエプロン交換、手袋、マスク等の着用の実施にて感染予防に取り組んでいる。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は、常に業者に配達して貰い、新鮮な物を使用しています。又、日常の衛生管理には全職員が心掛け徹底している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節ごとの花や飾りつけは職員が考え工夫して実施している。特にクリスマス時の飾りつけには毎年力を入れて施設の人たちや周辺の人たちに楽しんでもらえる様実施している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテン・暖簾・簾等居室の様態変えを兼ねた、自然な風通し採光を心掛け、快適な暮らしの維持、向上に努めている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各自一人ひとりが居心地の良い生活をしていただく為、コタツ、ソファ、ベンチを用意し、コミュニケーションがとれる場所が出来ている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各自一人ひとりが使い慣れた物を持ち込み安楽に生活できるように利用者様の特色が出ている部屋になっている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室に換気扇、エアコンが設置され、天気やその日の状況に応じて調整している。また、窓もあるので換気はいつでも出来るようになっている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は安全に自立歩行が出来る様に、あらゆる場所に手摺りが設置されている為自在に移動出来る様になっている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日常の暮らしの中で食事作り、洗濯物干し、たたみ、掃除等本人が取り組みやすい、適度な仕事を手伝っていただき、生活の実感を味わっていただけるように実践している。		手伝いに加わっていただける利用者様は大体決まっていますので、これからは手伝いに加わっていただけない利用者様にも、出来ることを見つけ、仕事の達成感と喜びを味わっていただきたい。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天候に応じて、天気の良い時は外での昼食やおやつ・お茶等を頻繁に行っている。また、庭を利用して焼き芋、餅つき等を行い、その場を楽しんでいただいている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

昨年の12月の家族会は開所5周年という事もあり、施設内ではなく小川町の大きなホールを会場にして行いました。沢山の来客を招いて盛大に行いました。その中で太鼓、歌、手品、ピアノの演奏などそれぞれ専門の人たちに協力してもらい、利用者様の生き活きとした姿は見事なものでした。また、最後の利用者様とスタッフの手話を交えた合唱はみんながひとつになり感動に包まれたステージでした。利用者様の各自一人ひとりのレベルに合った学習療法を実施しています。